プレスリリース　2026年11月10日
国際芸術祭「あいち」組織委員会

Aichi Triennale 2028
国際芸術祭「あいち2028」
企画概要（会期、会場）

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局
（愛知県県民文化局文化部文化芸術課国際芸術祭推進室内）
電話：052-971-3111（代表）

開催概要

開催目的

・新たな芸術の創造・発信により、世界の文化芸術の発展に貢献します。
・現代美術等の普及・教育により、文化芸術の日常生活への浸透を図ります。
・文化芸術活動の活発化により、地域の魅力の向上を図ります。

名称

国際芸術祭「あいち2028」
Aichi Triennale 2028

芸術監督

シャビール・フセイン・ムスタファ
Shabbir Hussain Mustafa
（シンガポール美術館チーフキュレーター）

会期

2028年9月16日（土）～12月3日（日）［79日間］

主な会場

愛知芸術文化センター
半田市
名古屋市南区（内田橋地区）

主催

国際芸術祭「あいち」組織委員会
（会長 大林剛郎（株式会社大林組取締役会長 兼 取締役会議長））

主な会場

愛知芸術文化センター

Aichi Arts Center

国内外の20世紀美術を中心に充実した作品を所蔵する「愛知県美術館」、大ホール、コンサートホール、小ホールなどを有する「愛知県芸術劇場」、アートスペース、アートプラザで構成される「愛知県文化情報センター」からなる複合文化施設。
愛知県の文化芸術の拠点として、名古屋市の中心部に1992年開館。





半田市

Handa City

名古屋市の中心から南へ約25km、中部国際空港の東に位置する人口約12万人の知多半島の中心都市。天然の良港「衣浦港」を活かして江戸時代から海運や醸造業で栄え、地域の政治・経済・文化の中核として発展した。
まちを象徴するのは、300年以上の伝統が息づく豪華絢爛な山車、黒板塀の醸造蔵が並ぶ半田運河、童話「ごんぎつね」の作者・新美南吉の足跡、そして明治期の産業遺産である赤レンガ建物。歴史と文化が織りなす風情が訪れる人々を惹きつける。





名古屋市南区（内田橋地区）

Uchidabashi Area, Nagoya City

名古屋市南区の北西部に位置する内田橋地区。かつて周辺には遠浅の海が広がり、江戸時代から新田開発が進められ、交通・水運の要所として栄えた。昭和初期には「名古屋の南の玄関口」として大いに賑わいを見せた。
堀川と新堀川が合流する付近に架かる「内田橋」のたもとには、昔ながらの風情を残す内田橋商店街が広がる。近年は地域住民や商店主による活性化の取り組みが進み、老舗と新たな店舗が共存。祭りやイベントを通じて多様な人々が集い、歴史と新しい文化が融合するまちとして、新たな賑わいが生まれている。





